

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

2K4K8K

高シールド

4K・8K放送対応 家庭用ブースター

UHF 470~710MHz
CS/BS-IF 1032~3224MHz 増幅用
前置ブースター用給電スイッチ付
DC15V電源重畠方式

GCU433D1S

UHF 33dB/43dB共用形

CS/BS 35dB形

新4K8K衛星放送に対応

すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。

ケーブルテレビとFM放送には使用できません。



■ブースターの効果について(知っておいていただきたいこと)

このような場合に効果があります

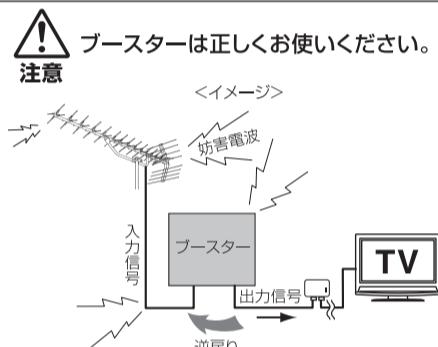
- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場合
- テレビやデジタルレコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

このような場合、ブースターを使用しても効果がありません

- 電波の受信品質が低い
 - 例: 視聴エリアではない電波塔にアンテナを向いている
 - ブースターを接続する前の方がよく映っていたなど

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。

工事店にご相談ください



ブースターは信号を増幅する機能上、正しく取り付けないと、自分の家やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。
●入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実に行なう
●入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースターに巻きつけない
●配線には必ず同軸ケーブルを使う
●アンテナマストに取り付ける場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発振(妨害電波を発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなることがあります。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

テレビ受信工事には技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

製品の上に乗らない
こわれたりしてけがの原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

以下の場所に設置しない
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
・強度の弱い場所
・不安定な場所
・ぐらついたり振動したりする場所
・傾いたり

ブースター電源部を以下の場所に設置しない
変形や火災、感電等事故の原因となり、製品寿命が短くなることがあります。

・直射日光の当たる場所

・放熱機能のないパネル内

・屋外・風呂場・洗い場・水がかかる場所

・湿気やほのかい多い場所

・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所

・油煙や湯気がある場所

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしない

また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づける)、引っ張ったりしない

火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとラジオ音声にノイズが入る場合があります。

お手入れの際は、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わない

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

ブースター電源部を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナやテレビなどを接続しているケーブルをはずす
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、製品には触れない
感電の原因となります。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない
火災や感電の原因となります。すぐに、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して販売店・工事店に修理をご相談ください。

内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない
火災や感電の原因となります。

製品を分解・改造しない
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。

電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む
ゴミやほのかいが付着しているときは拭き取ってください。火災の原因となります。

製品にテーブルクロスやカーテン等の燃えやすいものを掛けたり、ゅうたんや布団の上に置かない
熱がこもり、火災の原因となります。

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お手入れの際は、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わない

塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。

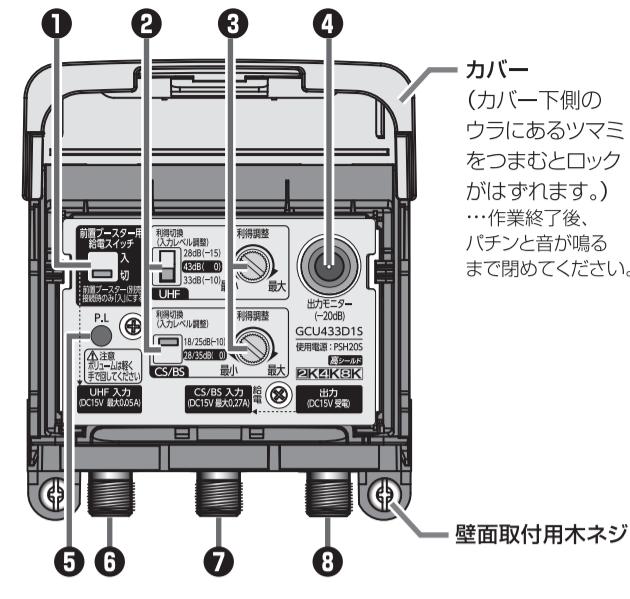
お取り扱いの前に

4K・8K放送(新4K8K衛星放送)をご覧いただく場合は、4K・8K放送に対応したBS・110度CSアンテナとテレビなどが必要です。また、3224MHzまで対応する同軸ケーブルや分配器などを使用してください。

DXアンテナ

1 各部の名称と機能

■増幅部



増幅部の説明

1 前置ブースター用給電スイッチ

増幅部とUHFアンテナ間に前置ブースターを接続する場合に「入」にします。(電源供給が同軸重畠方式の前置ブースターの場合)

※出荷時:切

2 利得切換(入力レベル調整)スイッチ

アンテナからの信号を増幅する際の利得を選択します。

※出荷時:切

3 利得調整ボリューム

各帯域において、利得を10dB連続で可変できます。

※出荷時:利得最大

※ボリュームは必ず手で回してください。
(工具を使うと破損します。)

4 出力モニター端子(-20dB)

レベルチェッカー等を用いて調整する場合に使用します。

5 P.L.(パイロットランプ)

電源を供給すると点灯します。

6 UHF入力端子

UHFアンテナに接続します。

①を「入」にするとUHF前置ブースターに電源供給が行なわれます。

7 CS/BS入力端子

BS・110度CSアンテナに接続します。

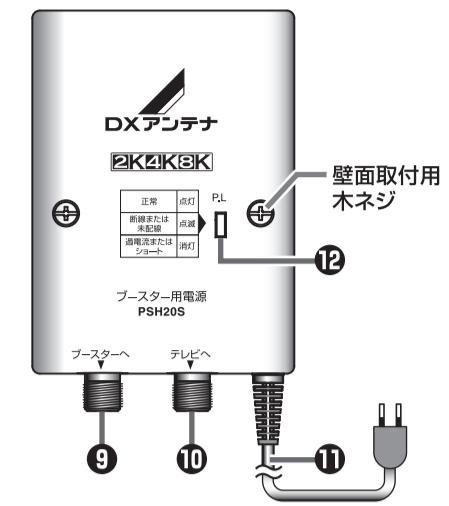
CS/BSコンバーター用電源(DC15V、最大0.27A)を常時供給する端子です。

8 出力端子

②と接続します。

増幅された信号が输出されます。

■電源部



電源部の説明

9 ブースターへ

⑧と接続します。増幅された信号が入力されます。同時に増幅部へ電源を供給します。

10 テレビへ

テレビと接続します。増幅された信号をテレビ側へ出力します。

11 電源コード

電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むことにより、電源供給を行ないます。

※パイロットランプが点灯しない、異常に熱くなる等の異常がない限り電源コードは抜かないでください。テレビ放送が見られなくなります。

12 P.L.(パイロットランプ)

電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むと点滅し、同軸ケーブルを増幅部に接続すると、点灯します。
同軸ケーブルがショートや断線していると、下記のように光でお知らせします。

[状態] [お知らせ]

正常	点灯	P.L.
断線または未配線	点滅	
過電流またはショート	消灯	

※点滅・消灯のときはウラ面「⑥」うまく映らないときは「⑨」をご覧ください。

2 取り付ける

垂直マストに取り付ける

取付可能な場所と取り付けかた

增幅部

電源部

マスト取付・ステンレスバンドによる取付・壁面取付

屋内・屋外

屋内のみ

壁面取付・または据え置き

マスト

増幅部

電源部

マスト取付

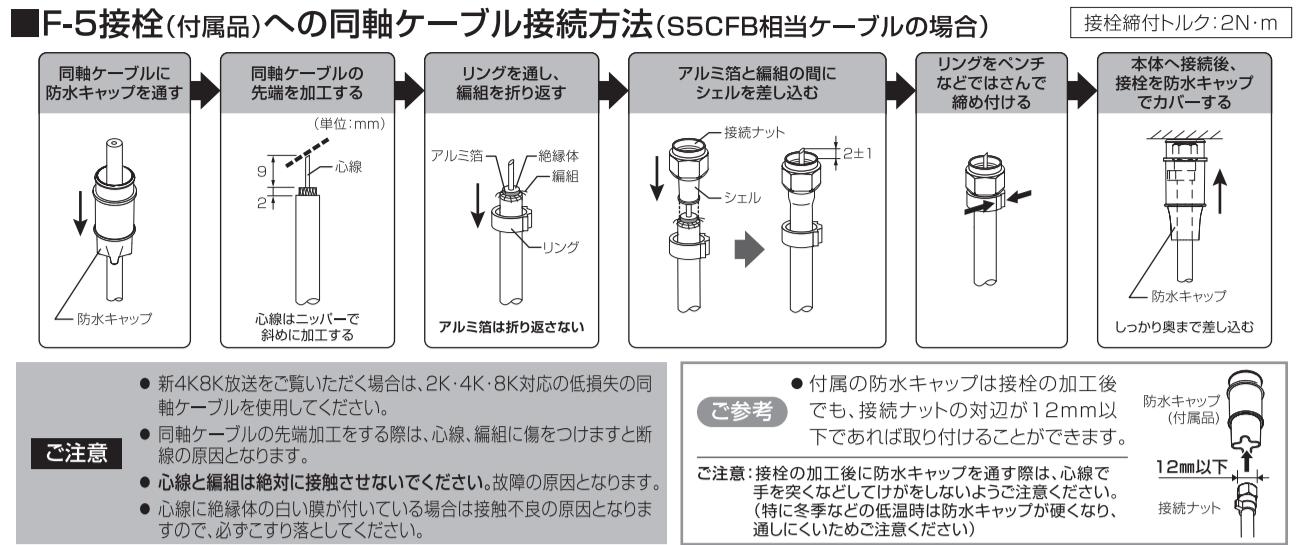
增幅部

電源部

マスト

増幅部

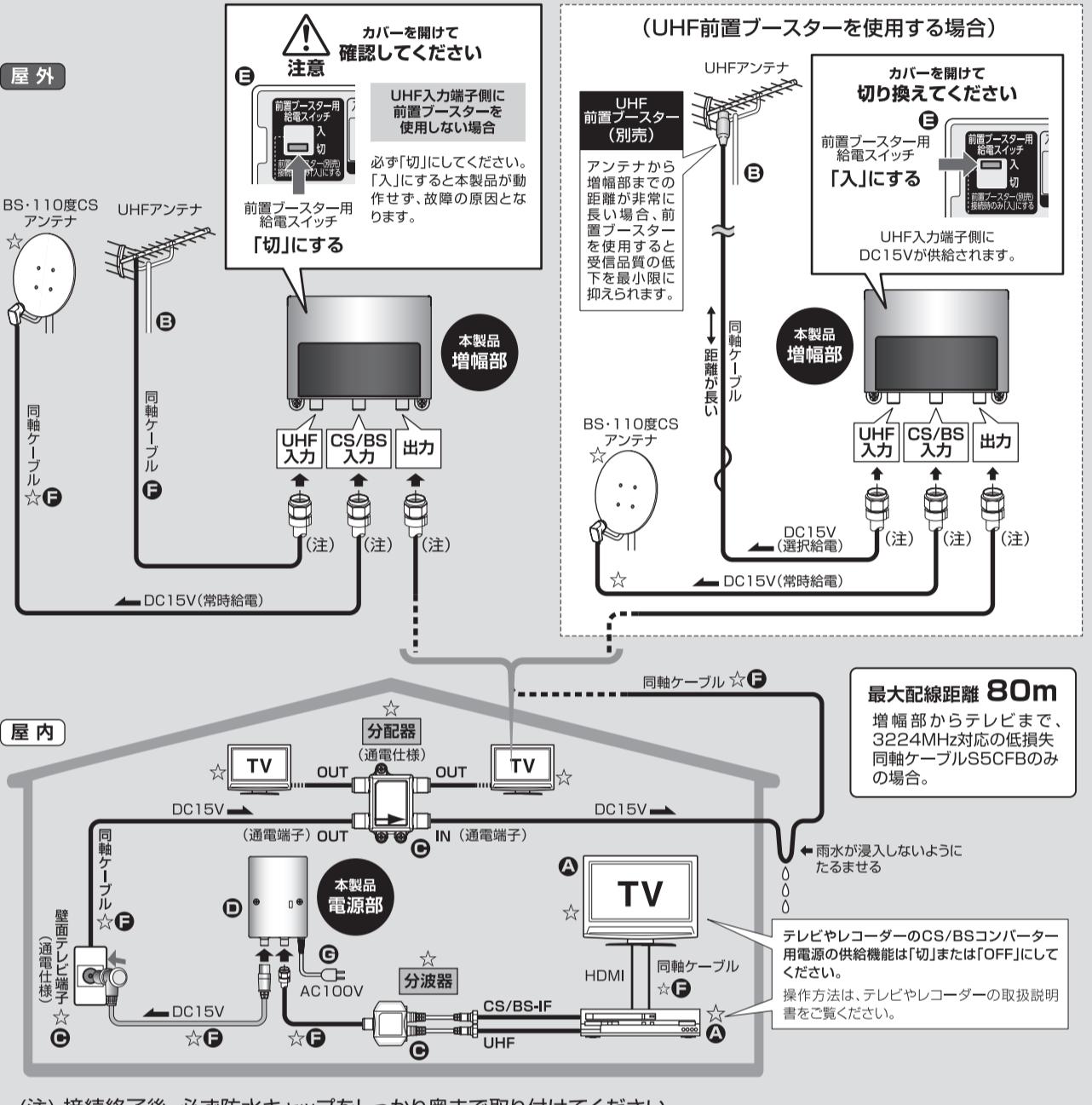
3 同軸ケーブルを準備する



4 接続例

* 図中のA～Gは、後述「**6 うまく映らないときは**」に対応しています。
* 4K・8K放送(新4K8K衛星放送)を見るためには、4K・8K放送に対応したケーブルや☆印の機器(3224MHz)が必要です。

増幅部と電源部の間に接続する機器は、通電形を使用してください。



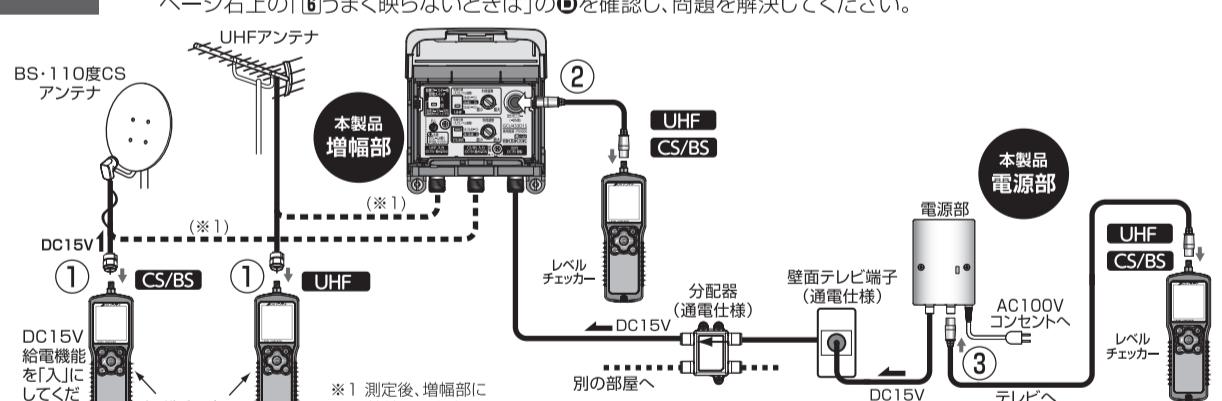
5 調整する

調整にはレベルチェッカー等の測定器を使用してください。

- 調整をはじめる前に
- 出荷時設定を確認してください。
 - 利得切換スイッチ(入力レベル調整)…UHF: 33dB(-10), CS/BS: 18/25dB(-10) ●利得調整ボリューム…最大
 - 増幅部と電源部を同軸ケーブルで接続してください。次に、電源部の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み、増幅部と電源部のバイロットランプがともに点灯することを確認してください。

<バイロットランプが点滅している、または消灯している場合>

ページ右上の「**6 うまく映らないときは**」のDを確認し、問題を解決してください。



① 入力レベルの確認

ブースターへの入力レベルをレベルチェッカーで確認し、受信可能なチャンネルの入力レベルに応じて「利得調整スイッチ」を選択してください。

- 入力レベル範囲の下限(UHF: 41dBμV/CS/BS: 44dBμV)に満たない場合 アンテナの方向の再調整を行なってください。それでも改善しない場合は、前置ブースターの追加や、高利得/狭指向性アンテナへの変更の検討が必要です。
- 入力レベル範囲の上限(UHF: 77dBμV/CS/BS: 78dBμV)を超える場合 別売のアッテネーターを使用して調整してください。

帯域	入力レベル	利得切換スイッチ
UHF	41～62 dBμV	28dB(-15) 33dB(-10)
CS/BS	51～72 dBμV	28dB(-15) 43dB(-10)
	56～77 dBμV	28dB(-15) 33dB(-10)

② 出力レベルの確認

出力モニター端子にレベルチェッカーを接続して定格出力レベル(出力モニター端子レベル+20dB)を超えないように利得調整ボリュームを調整してください。

帯域	定格出力レベル	利得調整ボリューム
UHF	105 dBμV	最小
CS/BS	96 (1032MHz) / 99 (2150MHz) dBμV	最大

③ 最終チェック

テレビ受信機(以下テレビ)への入力レベルをレベルチェッカーで確認し、右表(上段)の範囲であることを確認してください。最後にテレビで、受信可能なチャンネルの映像が正常に映ることを確認してください。

- レベルの上限を超える場合 利得調整ボリュームで調整してください。調整できない場合は、利得切換スイッチを再調整してください。
- レベルの下限がない場合 ページ右上の「**6 うまく映らないときは**」のCをご確認後、お買い上げの販売店、および工事店にご相談ください。

帯域	テレビ受信機入力レベル	利得調整ボリューム
UHF	47～81 dBμV	最小
CS/BS	48～81 dBμV	最大

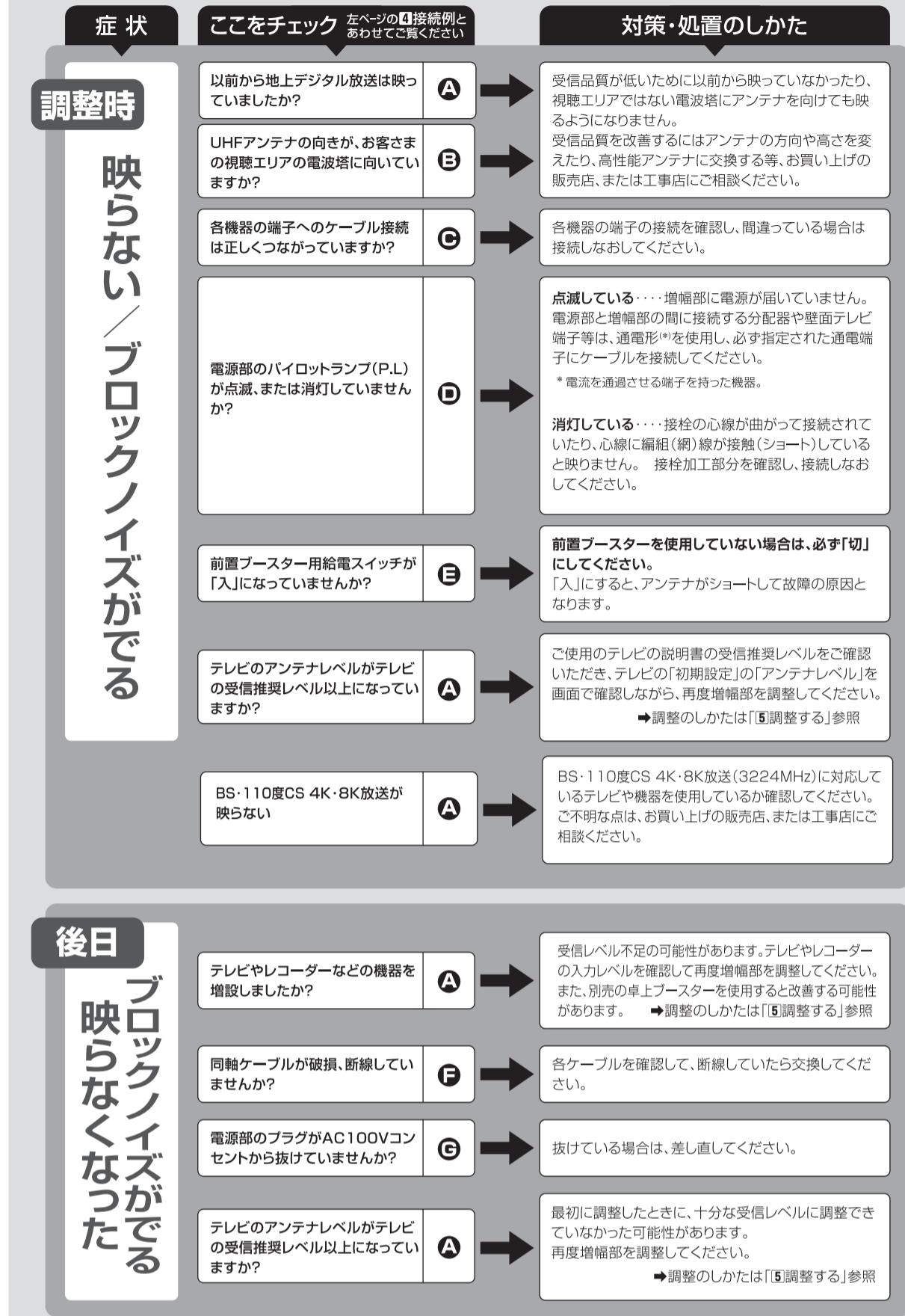
※2 2017年5月31日時点

6 うまく映らないときは ここをチェックしてください

調整しても放送が映らない場合や、後日画面にノイズがでたり、映らなくなった場合は下記項目をチェックしてください。

ご参考

テレビの設定メニューなどで表示・確認できる「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値が、ブースターを使用しても変わらない、あるいは下がる場合がありますが、これらの機能はアンテナの方向調整を目的にしたもので、電波の強さ(レベル)を示すものではありません。受信品質を向上させるためにはアンテナの高さや方向を再調整する、または高性能アンテナに変更する必要があります。



仕様

GCU433D1S		電源部: PSH20S	
使 用 周 波 数 (MHz)	10～3224	使 用 周 波 数 (MHz)	10～3224
電 源 / 定 格 消 費 力 (V/W)	AC100(50/60Hz)/10	電 源 / 電 源 (V/A)	AC150/5.0
重 量 電 源 (kg)		入力インピーダンス (Ω)	75(F形)
出力インピーダンス (Ω)		出力インピーダンス (Ω)	75(F形)
插 入 损 失 (dB)	0～1.2(10～1000MHz) 0～2.0(1000～2610MHz) 0～3.0(2610～3224MHz)	使 用 温 度 範 囲 (°C)	-10～+40
外 形 尺 度 (mm)	97(H)×70(W)×35(D)	外 形 尺 度 (mm)	97(H)×70(W)×35(D)
質 量 (kg)	0.2	質 量 (kg)	0.2

*1 インターバル範囲にて利得切換スイッチを選択してください。
41～62dBμVの場合 [43dB(-10)]
51～72dBμVの場合 [33dB(-10)]
56～77dBμVの場合 [28dB(-15)]

*2 インターバル範囲にて利得切換スイッチを選択してください。
44～68dBμVの場合 [28/35dB(-10)]
52～80dBμVの場合 [17/25dB(-10)]

*3 44～68dBμVの場合 [17/25dB(-10)]
52～77dBμVの場合 [28/35dB(-10)]

*4 CS/BSコンバーター用電源+UHF電源供給時

*5 CS/BSコンバーター用電源+UHF電源供給時

●この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

●電源部の説明は、電源部本体の裏面にも表示しています。仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

JETIA表示による
2K4K8K: 2K-4K-8K放送対応マークは、BS-110度CSにて間に放送されている2K放送と4K-BK放送(新4K8K衛星放送)に対応した機器(3224MHz)であることを示します。

SH JEITA: SHマーク(スヌード)ハイビジョン受信マークは、BS-110度CS左右旋放送電波帯に認めた機器のうち、一般社団法人電子情報技術産業協会会員登録された一定の性能を有するスヌードハイビジョン衛星放送専用に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

製品に関するお問い合わせを解決!



スマートフォン各種設定方法がわかる



ホームページでも定期検査や、各種端末の詳しい手順を確認できます。

QRコードからアクセスしてください。

[1003]

型番	お 買 上 年 月 日	お 買 上 日 期 間
GCU433D1S		1 年 間
ご住所・ご店名		お名前
ご販売店		ふりがな
電話()		お客様
カスタマーセンター 土・日・祝日もご利用ください!	0570-033-083	お電話番号
DXアンテナ株式会社		ホームページアドレス
5067-4		https://www.dxantenna.co.jp/

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。
ただし、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担させていただきます。また、保証期間終了後の修理についても、お買い求めの販売店は、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
①ご使用の限り、および不正確な修理や改造による故障および損傷。
②買上げ後、落雷、火災、地震、洪水、津波などの水害、落雷、雪崩、ガス爆発、ねずみや虫鳥、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
③走行中の車両、船舶への搭載による故障および損傷。
④塗装の色あせなどの年劣化や、使用に伴う摩耗などを引き起こす外観上の現象。
⑤本保証書をお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入ない場合。
5. 製品対象以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内にのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビゲーションは各社音声通話定額サービスの対象となっております。

■ 受付時間 9:30～17:00 (夏季・年末年始休業は除く)
■ 一部のIP電話で上記番号をご利用になれないので、050-3818-9016 | ホームページアドレス https://www.dxantenna.co.jp/